

○ 委員長報告

6月定例会本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

平成29年6月定例会

経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、輸出用加工食品等競争力強化事業についてであります。

このことについて一部の委員から、海外への販路開拓は、全国的にも競争が激化してきており、本県ならではの商品をブランド化するほか、海外ニーズに合ったものを提供する必要があるが、取組内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、これまで、東アジアや米国、豪州など新興国市場や成熟市場に対し加工食品等の販路開拓に取り組んでいるが、賞味期限や原材料等の問題に加え、参画事業者の固定化が課題となってきたことから、一層の商品力の強化と輸出事業者の裾野拡大を図る必要がある。

このため、県内企業の取組状況に応じ、既に輸出に取り組んでいる企業の課題解決のための研究開発や、新たに輸出に取り組む企業のマーケティング等を支援することとしている。

また、輸出競争力アドバイザーを設置し、輸出先のニーズに応じたきめ細かなサポートを実施するなど、海外販路の拡大に努めていきたい旨の答弁がありました。

なお、一部の委員から、海外輸出に取り組む企業からは、海外での展示会等において言語の壁により商談が円滑に進まない場合があるとの声もあり、1件でも多くの成約に繋がるよう、通訳を積極的に手配してもらいたい旨の要望がありました。

第2点は、松山空港国際線の現状と今後の取り組みについてであります。

このことについて一部の委員から、台湾との定期路線開設に向けた、チャーター便の季節運航等についての考え方はどうか。

また、上海線の搭乗率や利用促進に向けた取り組み及びソウル線の運航再開に向けた見通しはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、台湾との定期路線開設のためには、航空会社側の需

要確認が必要であり、訪日熱の高い台湾からのインバウンドだけでなく、ある程度のアウトバウンド需要が重要である。

現在、複数の航空会社と交渉しており、定期路線開設に向けたステップとなる季節 運航やプログラムチャーターによる連続運航により、お互いの需要確認を行うことになるものと見込んでいる。

次に、上海線の搭乗率は、本年1月以降、安定運航の目安となる60%台を確保しており、上海市での県観光物産協会と連携した商談会や陝西省西安市でのアンテナショップにおける説明会開催により誘客を促進したところであり、今後も安定運航に向けた取り組みを進めることとしている。

また、ソウル線については、一刻も早い運航再開に向け、今後、複数の航空会社の意見を聞きながら、松山市や県観光物産協会とも連携し取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

第3点は、県立新居浜病院の整備についてであります。

このことについて一部の委員から、現在の取組状況はどうか。

また、整備に当たり、地元企業の活用について、どう考えているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、事業者の選定等を行うため、4月に県立新居浜病院整備検討委員会を設置し、7月には第1回目の委員会を開催して、入札公告関連資料について審議する予定であるなど、今年度中の事業契約の締結に向け準備を行っている。

また、整備に当たっては、入札公告の中に、県内企業の活用など地域経済の振興への配慮を盛り込むことを検討している旨の答弁がありました。

このほか、

- ・愛媛の酒海外商品力強化事業
- ・機能性食品等開発促進・販路開拓事業
- ・県立病院看護師等の採用

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。